

「令和6年度第1回二戸圏域地域医療連携会議及び二戸構想区域地域医療構想調整会議」会議概要

日時：令和6年9月26日（木）18：30～19：15

場所：二戸地区合同庁舎 1階 大会議室

1 開会

2 あいさつ（二戸保健所長）（概要）

- ・委員の皆様には、日頃から、二戸圏域における保健・医療・福祉行政の推進に御理解・ご協力いただき感謝申し上げます。
- ・本会議につきましては、例年、地域医療構想に係る対応方針の進捗について皆様と情報共有するとともに、昨年度は、保健医療計画の改訂年度ということもあり、委員の皆様には、地域編の部分について、御意見等を伺わせていただき、重ねて感謝申し上げます。
- ・地域医療構想につきましては、令和6年度から国の新たな取組として、地域医療構想における推進区域及びモデル推進区域の設定について示されており、本県の対応状況について、医療政策室より説明いただく。
- ・また、昨年度、県立病院の経営計画につきまして、現行計画の一部見直し、特に医師の働き方改革を盛り込んだ見直し案について御協議いただいていたが、今般、来年度に向けて次期経営計画の素案が示されており、医療局より説明いただく。
- ・限られた時間ではあるが、委員の皆様から多くの御意見をいただきたいので御議論のほどよろしくお願ひしたい。

3 議事（森谷議長：保健所長）

(1) 二戸圏域地域医療連携会議及び二戸構想区域地域医療構想調整会議の進め方について

○説明

- ・二戸保健所佐々木管理課長
資料（資料1）により説明（省略）

(2) 地域医療構想における推進区域及びモデル推進区域の設定について

○説明

- ・医療政策室吉田主事
資料（資料2）により説明（省略）

○質疑等

（森谷議長）

岩手県内では、モデル推進区域は該当なしで、推進区域として両磐構想区域が該当している。

両磐構想区域の急性期が248%となっているが、二戸構想区域は2番目に多く211%となっている。

これは、病棟単位で算出しているため高い数値となっている。

例年、地域医療構想における具体的対応方針を各医療機関から提出いただいているが、病床単位で計算すると約186%となる。

例えば、軽米病院では21床が、一戸病院では12床と休床している1床が、病棟単位で急性期に含まれてしまうものであること。

(3) 岩手県立病院等の経営計画（2025-2030）（素案）について

○説明

- ・医療局経営管理課佐藤予算担当課長
資料（資料3-1）により説明（省略）

○質疑等

（森谷議長）

委員の皆様は実感がわかないと思われるが、6ページの県立病院を取り巻く環境（医師等の不足）で、以前、二戸管内は医師少数区域だったが、医師の実数は微増であるが、圏域の人口減少率が大きいいため、医師少数区域ではなくなったもの。

（小笠原委員）

二戸圏域の一般病院と連携して機能分担していくこと、盛岡圏域、特に県立中央病院、岩手医大と連携強化を進めていくことが二戸圏域では重要と考えている。

（葛西委員）

保健所長からも発言があったが、二戸圏域が医師少数区域ではないことに違和感を感じる。

実際の救急車の稼働数からいくと、軽米エリア、一戸エリアでは250台から260台位で済むが、二戸のエリアとなると1200台を超える位となり、二戸病院に負担がかかっているのではと危惧している。

（後藤オブザーバー）

一戸病院は、精神科医療を中心に行っており、その役割をしっかりと進めていくとともに、内科の一般病床も47床あり、現在、23名程の患者が入院している。

今年度は、二戸病院より1か月交代で常勤医を派遣いただいているが、一人の常勤医で対応している状況であるので、可能な範囲で引き続き診療をしていく。

（医療局経営管理課佐藤予算担当課長）

各圏域に県立病院運営協議会設置しており、今後、二戸圏域の県立病院運営協議会も開催する予定であり、そちらでも計画の素案について説明させていただく予定。

（横島委員）

二戸圏域は、医師少数区域でなくなったが、軽米病院は久慈の慢性期も抱え、二戸病院は、青森県南の医療も支えているという点を忘れないでいただきたい。

（森谷議長）

軽米病院には、新型コロナの際、久慈病院の後方支援も担っていただき感謝申し上げます。

4 その他

特になし

5 開会